

平成 28 年度 第 1 回霧島市母子保健検討委員会 会議趣旨

開催日時	平成 28 年 8 月 18 日 (木) 19:30~20:50		
開催場所	国分シビックセンター公民館 3 階 中研修室		
出席委員	碓元委員長、前田委員、宮川委員、中西委員、今村委員、塗園委員、中山委員		
事務局	【健康増進課】林健康増進課長、上小園主査、福本主査、小島主任技師 【すこやか保健センター】早瀬すこやか保健センター所長、 中村サブリーダー 【発達サポートセンター】重留発達グループ長		
公開・一部非公開又は非公開の別	公開	傍聴人数	0 人
<p>議事</p> <p>(1) 「きりしますこやか親子 21 (第 2 次)」について</p> <p>(2) 平成 27 年度母子保健事業報告及び平成 28 年度母子保健事業計画について</p> <p>(3) その他</p>			
<p>協議結果等の概要 委：委員 事：事務局</p> <p>事務局が資料に沿って説明。委員からの主な質問は次のとおり。</p> <p>【発達相談事業】</p> <p>委：各種発達相談事業は、同日に受診できるのか。</p> <p>事：心理相談は別日で実施しているが、言語聴覚士、作業療法士、理学療法士は月に 1 回同日に受診できる体制をとっている。各種相談日に必要があれば他職種による相談を紹介するなど連携をとっている。</p> <p>【妊産婦新生児訪問事業】</p> <p>委：若年妊婦や、母子健康手帳発行を 28 週以降に発行した妊婦、経済的困難な妊婦については妊産婦新生児訪問で対応しているのか。またそれらの人について支援台帳を作成しているという考え方でよいのか。H27 の支援台帳の作成件数を教えてほしい。</p> <p>事：若年妊婦については母子健康手帳発行時から支援を始めている。産婦人科からも気になる妊婦については、情報提供をもらい連携をとっている。今後も出産後、検診等未受診のケースなど、さらなる連携強化を図っていきたい。妊産婦新生児訪問については、これらの訪問件数が計上されている。H27 年度の支援台帳訪問件数については、後日改めて報告させていただきたい。支援台帳については電算システムで管理しており、管理の仕方等については現在模索中である。</p> <p>【予防接種事業（子宮頸がんワクチン）】</p> <p>委：子宮頸がんワクチンについては、行政としてどのように考えているのか。</p> <p>事：厚生労働省からの通達で「積極的な接種勧奨の差し控え」を受けて、現時点では積極的に接種勧奨を控えるスタンスである。</p> <p>委：今の母親達は現状を全く知らない。「受ける」「受けない」以前に「知る権利」はあると思うが、今は通知を行っているのか。</p> <p>事：子宮頸がんワクチンについては、厚生労働省の通達を受け、積極的な接種勧奨を控</p>			

えているため個別通知を行っていない。今後は、子宮頸がんワクチンについての効果や副反応についての説明の方法等を、予防接種法や厚生労働省の通達を考慮し、慎重に検討していきたい。

【粉ミルク支給事業】

委：粉ミルク支給事業のその他の病気とはどのような疾病が該当になるのか。また、対象者に渡せるパンフレットはあるのか。

事：医師の診断書が必要で、パニック障害や、うつ病、高血圧症などの方がこれまで申請されている。A4サイズのチラシを市では作成している。小児科、産婦人科へ配布をしている。また母子健康手帳発行の際に、全員に説明をしている。

【母子健診事業】

委：1歳6か月児健診、3歳児健診の問診票の中に、現在の母親の状態などがわかる項目をいれた方がよいのではないか。

事：問診票の中には、世帯構成や、育児の協力者の有無、経済的な困り事について確認する質問項目がある。今回提示した質問票は、国のすこやか親子21に関し、必須項目が追加となった項目を提示したものである。

【フッ化物洗口事業】

委：小学生を対象にしたフッ化物洗口事業で、国のDMF歯数が全国平均よりも高いとあるが、H26をみると市の歯数は高くないが、どのように考えるか。また、教職員説明会や、保護者説明会の後は、健康増進課からどのような協力がもらえるのか。

事：この資料にある市の歯数が国・県よりも高いというのは、小学校におけるフッ化物洗口事業を導入する以前の値である。H26、H27については、県の平均値よりも市の値は低く、きりしますこやか親子21の目標値よりも低い現状であるが、健康増進課としては、なるべく全国平均や、それ以上のゼロに近づけるための取組を行ってきたい。各学校2年目以降については、歯科衛生士を年に1~2回派遣し、フッ化物洗口の指導やブラッシング指導を実施していく予定である。

【2か月児育児教室・育児相談事業】

委：育児相談の参加者数や2か月児育児教室の参加率が下がっている理由は何か。2か月児育児教室に来なかった人に対してどのようなフォローを行っているのか。

事：育児相談については、計測だけ希望の人が、こどもセンターに移行していると考えられる。それ以外の栄養相談や歯科相談を受けたい人は、これまでどおり来所されている。2か月児育児教室については、健診と違い全数を把握しているとは言えない状況である。今後、未受診児のフォローの方法等について検討していきたい。

【予防接種事業（B型肝炎ウィルスワクチン）】

委：霧島市の任意ワクチンの助成事業について前向きに検討して頂きたい。また対象生年月日はいつからになったのか。10月からでなく前倒しで実施することはできないのか。

事：B型肝炎ウィルスワクチンについては定期予防接種をあわせて、接種対象を1年間のさかのぼり、平成27年4月1日からとした。今回は10月からの実施となる。ロタワ

クチンについては、以前から先生方からのご意見もあり、試算を行い要望をした。来年度以降も要望していきたい。

(3) その他

事：平成 29 年度から、1 歳 6 か月児健診及び 3 歳児健診の隼人会場において、実施回数を月に 2 回に変更することを検討している。

会議資料

【配布資料】

- 会次第
- 平成 28 年度霧島市母子保健検討委員会委員名簿
- 霧島市健康・生きがづくり推進における各種委員会の設置に関する要綱
- きりしますこやか親子 21（第 2 次）
- 平成 27 年度母子保健事業報告及び平成 28 年度母子保健事業計画
- 3～4 か月間診票（資料）